

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-141888
(P2021-141888A)

(43) 公開日 令和3年9月24日(2021.9.24)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C 1 2 N 15/113 (2010.01)	C 1 2 N 15/113 Z N A Z	
C 1 2 N 15/09 (2006.01)	C 1 2 N 15/09 1 0 0	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 36 頁)

(21) 出願番号	特願2021-37576 (P2021-37576)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22) 出願日	令和3年3月9日(2021.3.9)	(74) 代理人	100145403 弁理士 山尾 憲人
(31) 優先権主張番号	特願2020-43253 (P2020-43253)	(74) 代理人	100145104 弁理士 膝舘 祥治
(32) 優先日	令和2年3月12日(2020.3.12)	(72) 発明者	福田 将虎 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
(33) 優先権主張国・地域又は機関	日本国 (JP)	(72) 発明者	野瀬 可那子 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		(72) 発明者	富田 洋平 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内

(54) 【発明の名称】 オリゴヌクレオチド及び標的RNAの部位特異的編集方法

(57) 【要約】

【課題】 部位特異的編集を誘導可能な標的編集ガイドオリゴヌクレオチドを提供する。

【解決手段】 標的RNAを特定する第一オリゴヌクレオチドと、第一オリゴヌクレオチドの3'側に連結する第二オリゴヌクレオチドと、第二オリゴヌクレオチドと相補鎖を形成し得る塩基配列を有する第三オリゴヌクレオチドと、第一オリゴヌクレオチドの5'末端と前記第三オリゴヌクレオチドの3'末端とを連結する第一連結基を含む標的編集ガイドオリゴヌクレオチドである。第一オリゴヌクレオチドは、標的RNA中のアデノシン残基に対応する標的対応ヌクレオチド残基と、標的対応ヌクレオチド残基の5'側に連結し、前記標的RNAに相補的な塩基配列を有する10残基以上24残基以下のヌクレオチド鎖と、標的対応ヌクレオチド残基の3'側に連結し、標的RNAに相補的な塩基配列を有する2残基以上7残基以下のヌクレオチド鎖とからなる。標的編集ガイドオリゴヌクレオチドは、標的RNAに対する部位特異的編集を誘導する。

【選択図】 図1

